

祇園こども園の自己評価（令和7年度 前期）

祇園こども園は幼保連携型認定こども園として、重要事項説明書に記述の「1. 施設の目的」、及び「2. 運営の方針」に基づく施設運営を行っています。

運営の過程においては、それぞれの指導計画等に基づく取り組みを行い、保育教諭等は自らの取り組みに対する振り返り（自己評価）を6か月毎（9月と3月）に行います。

一方、施設長は上記の各職員の自己評価も参考にしながら、施設運営の全般的内容に関する自己評価、及びホームページにおける公表を行います。

その振り返りを行うことによって、教育保育の実践・内容等の課題を見つけ、改善の方向を探り、職員の資質向上を図るとともに、さらに充実した教育保育を目指すことといたします。

1. 施設の目的

「宮崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例」等に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行うとともに、義務教育及びその後の教育の基礎を培うために、保育と一体化した教育を行い、子どもの最善の利益を考慮しつつ、その生活を保障し、保護者と共に園児を心身ともに健やかに育成することを目的とします。

2. 運営の方針

- (1) 乳幼児の心身の健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、情緒の安定、身体諸機能の調和的発達を図ります。
- (2) 集団生活を通して、喜んでこれに参加する態度を養うとともに、自主、自立及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うことに努めます。
- (3) 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うことで情緒的情操を高めます。
- (4) モンテッソーリ教育を通して科学的情操や道徳的情操を養い、知識を深め、それをもとに思考し、発言し、創造していく能力や、他者を理解しようとする態度を養うことに努めます。
- (5) 芸術（主に音楽）の学習に取り組むことや、芸術（主に音楽・美術）鑑賞を行うことによって豊かな感性と表現力の芽生えを養い、美的情操を高めることに努めます。
- (6) 快適な生活環境の実現及び子どもと保育教諭その他の職員との信頼関係の構築を通じて、心身の健康の確保及び増進を図ります。
- (7) 関係法令を遵守し、事業を実施いたします。

〔記入方法〕

・ A、B、C、D、E の 5 段階評価。

評価の目安

A : 80 点～90 点

B : 60 点～79 点

C : 40 点～59 点

D : 20 点～39 点

E : ～19 点

◆ 令和 7 年度 前期（4 月～9 月）◆

項目	内 容	評 価				
		A	B	C	D	E
教育 保育 目 標 に つ い て	(1)園児の生命維持を基本とした、安心、安全な保育を行っているか。		○			
	(2)保育の目標、計画等は、的確、明確であるか。		○			
	(3)計画に基づき、的確な保育を実行できているか。		○			
	(4)方針に基づく教育の実現に向けて、目標を明確にした計画等が的確、明確であるか。	○				
	(5)計画に基づき、的確な教育を実行できているか。		○			
教育 保育 に つ い て	(1)指導計画は各年齢の実態に即して作成しているか。	○				
	(2)認定こども園の要領に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3)環境の構成を意識した教育保育を工夫しているか。	○				
	(4)素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5)評価結果を基に教育保育の改善に努めているか。			○		
日時程	(1)1日の流れ(デイループログラム等)は現行でよい。		○			
行 事 に つ い て	(1)行事の種類や実施回数は適切か。		○			
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3)園児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。			○		
	(5)保護者の希望等を参考にしているか。				○	
食 育 に つ い て	(1)食育計画を作成し、より良い食習慣や心身の健康の基礎を培うよう努めているか。	○				
	(2)乳幼児に相応しい食生活が展開されるよう、食育について見直しや改善を図っているか。		○			

項目		内 容	評 価				
			A	B	C	D	E
経 営 ・ 組 織	分 掌 ・ 体 制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4)係や仕事の分担・割当ては適切か。		○			
	運 営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			

		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
		(3)打合せ回数、時間、内容は適切か。			○		
	年齢別・クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			
		(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短・長期のねらいは適切に設定しているか。		○			
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○				
		(6)評価、諸記録を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるよう具体的保健対策を講じているか。		○			
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。			○		
研究・研修	園内 研修・研究	(1)研究・研修主題は、教育保育目標の具現化につながるものであるか。	○				
		(2)園内研修の計画・運営は適切か。	○				
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			○		
	園外研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				
		(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○			

項目	内 容	評 価				
		A	B	C	D	E
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報に適正に取り扱っているか。	○				
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4)掲示板掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			

経理		(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			
開かれたこども園づくり	家庭・地域社会との連携	(1)積極的に保護者が参観できる機会を設けているか。	○				
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
		(3)園児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				○	

項目		内 容	評 価				
			A	B	C	D	E
開かれたこども園づくり	子育て支援の推進	(1)地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。				○	
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。				○	
		(3)「子育てについて」など保護者を対象とした学習の機会を設定したか。			○		
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(5)医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。				○	
	情報発信	(1)園だより・クラス通信、ホームページ等で施設情報を発信しているか。		○			
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。				○	
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。					○
		(2)保護者の意見を施設運営に反映しているか。				○	

令和7年10月10日

記録者 園長 長友高弥